

神河町【兵庫県】

歴史文化基本構想を活用した 観光拠点づくり事業



関西地方

■協議会メンバー
地域住民／観光協会／商工会等
の
関
係
団
体
／
行
政

■構
想
策
定
年
度
…
平
成
二
八
年
三
月
…
■補
助
事
業
期
間
…
平
成
三
〇
年
四
月
二
日
…
平
成
三
一
年
三
月
三
一
日

歴史文化基本構想の概要

私たちの町、神河町では、文化財や地域で長く伝えられてきた“宝もの”を「歴史文化遺産」と呼び、次世代に受け継いでいくための様々な取り組みを進め、まちづくりに活かしている。そして、歴史文化遺産を活かしたまちづくりをより一層効果的に進めていくために、「神河町歴史文化基本構想」「神河町歴史文化保存活用計画」を策定した。

観光拠点形成の方向性

- ・歴史文化遺産を検証し後世に伝える
- ・魅力と価値を体感できる場を整える
- ・学びと交流のフィールドづくり
- ・ものがたりを支える体制をつくる

観光に関する課題

- ・現況を損なわない復元整備
- ・地域内での価値や情報の共有
- ・地域外への情報発信
- ・有効活用のための補足調査

事業概要

神河の魅力発信事業

日本遺産に認定された「銀の馬車道（正式名：生野鉦山寮馬車道）」とその周辺に所在する関連文化財群を活用したウォークの第2弾。馬車道沿道コースでは、地域住民による解説やおもてなしが行われた。紫陽花の季節に、町内外からの参加者が楽しんだ。その他、歴史文化遺産を巡る講演会では、専門家、地元住民や観光ボランティアから、神社仏閣をはじめ地元に遺る多くの歴史文化遺産の説明や、旧街道筋では、往時の様子を宿場町であった頃の屋号が記された案内板で説明を受けた。



普及啓発

■KPI イベントへの参加者総数：500人（H29）→2,000人（R1）

国登録有形文化財 旧難波酒造 リノベーションプロジェクト

旧難波酒造は神河町で初めて国登録文化財になった建造物です。これをリノベーションし地域の観光拠点として活用するプロジェクト。平成31年度は茶室と土蔵を改修した。茶室では、地元の高校生が、日本遺産の構成資産でもある神河町に伝わる「仙霊茶」を使ったお茶会が行われた。土蔵では、地元の書家による展示会等も行われ、また地域では「銀の馬車道まつり」も開催され多くの方が訪れ、神河町に賑わった。



活用整備

■KPI 神河町の観光施設等に訪れる入込客数：705,800人（H29）→800,000人（R1）

成果

① 歴史文化遺産の魅力発信を継続

町内外の参加者に継続的に地域の食文化や民俗芸能など歴史文化遺産を紹介したことで、神河の魅力発信に繋がった。

② 地域の関心や協力体制の強化

銀の馬車道沿道の粟賀・中村景観形成地区では、四季色々なイベントが開催される。これらのイベントに国登録建造物の旧難波酒造を活用する事で地域の盛り上がり観光拠点が増えた。